

事務事業評価シート(事後評価)

事務事業名	街路水銀灯電灯料補助金交付事務			担当課名	商工観光課	
政策名	活力にあふれる産業のまち			担当係名	企業・定住促進係	
施策名	商業・サービス業の振興			課長等名	星 次	
施策細項目名	魅力的な商業づくり			担当者名	星 正浩	
予算科目	会計	一般	款	商工費	目	商工振興費
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	開始年度	平成 18	年度から		
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	平成	年度から	平成	年度まで
法令根拠、条例等	会津美里町街路水銀灯電灯料補助事業補助金交付要綱					
事務事業の概要	事務事業の内容	商店街の景観形成に寄与するため、高田地区及び永井野地区に設置されている街路水銀灯に対する電灯料の補助金交付事務事業を行っている				
	業務の内容 (職員が行っている内容)	高田地区及び永井野地区の街路水銀灯該当行政区へ電灯料の補助金交付事務				
	事業費の費目	補助金 791千円				
	これまで行ってきた改革改善内容	予算削減に伴う補助金額の減額				

1、現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)	補助金交付事務 平成20年度実績 高田地区:166灯 永井野地区:74灯
対象(誰、何を)	・高田地区内該当自治区 ・永井野自治区
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	商店街の集客性を高め、賑わいを創出し、商店街の振興を図る 犯罪の未然防止
結果(どんな結果に結びついているのか)	補助該当商店街の魅力ある商業環境を形成する

活動指標(活動を表す指標)	単位
ア 補助金交付事務日数	日
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
ア 団体数	団体
イ	
ウ	
成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
ア イベント回数	回
イ 犯罪件数	件
ウ	

(2) 指標の推移

区分	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(目標)
活動指標	ア 日	1	10	30	30	30
	イ					
	ウ					
対象指標	ア 団体	2	2	15	15	15
	イ					
	ウ					
成果指標	ア 回	2	2	2	2	2
	イ 件	0	0	0	0	0
	ウ					

(3) 総事業費の推移

区分	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(目標)
事業費	特定					
	財源					
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
事業費計	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	831	784	791	809
事業費計	千円	831	784	791	809	809

(4) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成18年度から商店街の活性化を図る目的で開始される
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	交通網の発達に伴い、遠隔大商業地での購入が増大し、地元商店街の縮小が進むとともに、街路水銀灯も設置から年月を経て老朽化が目立つようになる。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見が寄せられているか?	受益者である区長より、防犯灯としての取扱いをお願いされている。

事務事業名	街路水銀灯電灯料補助金交付事務	担当課	商工観光課
-------	-----------------	-----	-------

2、評価の部(SEE) 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	この事務事業の意図は結果(政策体系)に結びついていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	住民の生活利便性の向上につながるともに、防犯にも貢献している
	公共関与の妥当性	なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を使って達成する目的ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	防犯灯としての役割も果たしている
	対象と意図の妥当性	対象と意図を見直す必要がありますか？対象と意図の範囲を拡大、縮小する必要がありますか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	商店街の景観形成という目的からすれば、現況では、永井野地区は商店街を形成しているとは言い難い。永井野地区からは防犯灯事業に変更したいとの要望もあることから、高田地区に限定して、縮小するべきと考える。
有効性 評価	成果の向上余地	やり方や進め方を変えることで成果を向上させることができますか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	商店街を活性化する組織として商栄会という組織があり、商栄会と商業を営んでいない住民との間に、事業に対する意識のズレがある。補助対象自治区の住民(区長)が、商店街活性化のために必要な事業であるという認識が必要である。
	廃止・休止の成果への影響	事務事業を廃止・休止した場合に影響はありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有り <input type="checkbox"/> 影響なし	理由	商店街の活性化と防犯面で影響がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	類似の目的や形態を持つ他の事務事業との統廃合や連携を行うことができますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段があり、統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段はあるが、統廃合・連携はできない	理由	旧永井野地域の街路水銀灯は、設置してから年月がたっていることから、景観的や機能的に問題がある現状であり、商店街形成もされていない。また、区長等からも防犯灯への変更もお願いされているため、防犯灯事業へ統合できる可能性がある。
効率性 評価	事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減する方法はありますか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	高田地区の一部においては、商店街の景観形成及び防犯灯、永井野地区については、現在は商店街の形成はされていないが、防犯灯としての役割を果たしているため、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	やり方を工夫して延べ業務時間を削減する方法はありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	補助金交付要綱に基づいて事務を行っているため、削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	事業の内容が一部の受益者に偏って不公平になっていませんか？受益者負担を見直す必要はありますか？	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	補助率が定額の3,300円/灯としているが、電気料金が定額を下回る場合は、上限として交付しており、電気料金に応じた補助率を設定していないことで不公平という面もある。

3、評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1)1次評価者としての評価結果																							
目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(2)今後の事業の方向性(改革改善案)		(3)改革改善による期待効果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性、有効性の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性、有効性の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定(目的妥当性、の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性の結果) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性、の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	コスト																						
	削減	維持	増加																				
向上																							
維持																							
低下																							
評価に基づいた改革・改善案を記入します。																							
21年度の改革改善案		次年度以降の改革改善案																					
防犯灯事業との統合の検討。定額制から定率性への検討。		防犯灯事業との統合の検討。定額制から定率性への検討。																					
(4)改革・改善(案)を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
永井野地区及び高田地区における一部の街路水銀灯は、老朽化から景観を損ねているとともに、安全性でも問題である。しかし、現行法規では、撤去及び新設については、受益者で実施する方法しかない。このことから、防犯灯事業に変更することが最良と考える。また、町民からも、防犯灯事業に変更との要望もある。																							

事務事業名	街路水銀灯電灯料補助金交付事務	担当課	商工観光課
-------	-----------------	-----	-------

#### 4、事務事業の2次評価結果

##### (1) 2次評価者としての評価結果

目的妥当性  適切  見直し余地あり      有効性  適切  見直し余地あり  
 効率性  適切  見直し余地あり      公平性  適切  見直し余地あり

##### (2) 評価結果の根拠と理由

永井野地区については、設置当初は商店街の振興目的であったが、現在は商店街形成がされておらず、既にその意味は薄れている。実態としては防犯灯としての役割である。さらに本郷地域の商店街は防犯灯と位置づけし、全額町が電気料を負担しているのが現状である。街路水銀灯から防犯灯に切り替えると、電気料は全額町が負担することになるが、今より設置基数が減少するとともに、蛍光灯になるため明るさが減少することになる。

##### (3) 今後の事業の方向性(改革改善案)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性、有効性の結果)            | <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性、有効性の結果)            |
| <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定(目的妥当性、の結果) | <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性の結果) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性の結果) | <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性、の結果)           |
| <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性の結果) | <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで改革改善をしない)         |

(4) 改革改善による期待効果(廃止・休止の場合は記入不要)

	コスト		
	削減	維持	増加

評価に基づいた改革・改善案を記入します。

永井野地区の街路水銀灯74灯については、防犯灯の機能に絞って灯数を削減し、防犯灯の機能へ切り替える。

高田地区の街路水銀灯166灯については、防犯灯の機能にすることにより、商店街が暗くなる懸念があることから、地区の意向を確認した上で対応する。

成果	向上			
	維持			
	低下			

##### (5) その他2次評価会議で指摘された事項

防犯灯電気料を全額町が負担することについても検討する必要がある。